

The Function and Actual Use of Chinese Interrogative Fillers

Yang Zhou

Abstract

1, Research Background

With regard to Chinese fillers, interrogative words are frequently used and play an important role in conversations, along with demonstrative words like [na ge] and [zhe ge], and exclamation words like [en]. Researchers have focused on demonstrative words and exclamation words, and have pointed out their various functions. In contrast, most studies on interrogative words have focused on a single function of a specific filler. Therefore, it cannot be denied that system descriptions and functional analyses are still inadequate.

Many interrogative words exist, but not all are used as fillers. A closer look at the conversation data in this study confirms that [shen me] and [zen me] are two types of interrogative words used as fillers and are referred to as the [shen me] type and [zen me] type, respectively. The [shen me] type is rich in variation, and patterns that co-occur with [na] and [lai zhe] are often seen. On the other hand, there is only one type of [zen me] type expression, which is [zen me shuo ne].

2, Research Conclusions

In addition, analysis of various fillers reveal that the degree of information shared by conversation partners may be involved in the use of [na shen me] and [na ge shen me]. The more information partners share, the more easily they can choose [na shen me]. On the contrary, when it is necessary to present a clear expression, [na ge shen me] tends to be used. This can be considered as a hypothesis, although there are only a few example sentences.

As for the function of [shen me lai zhe], all usage examples are

used as “expression search.” The expressions can be subdivided into “name search” and “additional item search,” each of which are used to search “a specific name that cannot be remembered immediately” and “other things that can be regarded as similar,” respectively.

The functions of [zen me shuo ne] can be summarized as “content search,” “topic search,” and “softening.” Based on the actual usage of [zen me shuo ne], content search can be subdivided into type A [zen me shuo ne], where the explanation embodies the content of communication, and type B [zen me shuo ne], where the conclusion introduces the main point. In addition, the topic search function, which presents new topics, and the softening function, which introduces negative evaluations, were used to communicate with the survey subjects in this study.

中国語の疑問詞型フィラーの機能と使用実態

楊 洲

1 はじめに

中国語フィラーを研究すると、指示詞型「那个」「这个」、感嘆詞型「嗯」のように、発話に頻出する「疑問詞型」も重要な存在である。しかし、指示詞型、感嘆詞型は研究者により注目され、さまざまな機能が指摘されているが、「疑問詞型」については、ほとんどの研究はある特定のフィラーの単一機能に注目しており、体系の記述や機能分析にはまだ深く掘り下げる余地が残されている。

疑問詞にはさまざまな種類の表現が存在しているが、すべての疑問詞がフィラーとして使われるものではなく、本研究における発話データを精査すると、2種類の疑問詞「什么」「怎么」はフィラーとして使用されていることが裏付けられ、本研究ではそれぞれ「什么」型と「怎么」型と名付けられている。「什么」型はバリエーションに富み、「那」「来着」などと共起するパターンがしばしば見られる。それに対して、「怎么」型の場合の表現方法はただ「怎么说呢」一種類だけとなる。

本稿では、話し言葉に頻繁に使用される中国語疑問詞型フィラー「什么」型、「怎么」型が実際の発話でどのように使われているのかについて調査を行い、実際の発話でのいろいろな使われ方に基づき、その機能と使

用実態を究明したい。

2 先行研究

「怎么说呢」に関する先行研究では、曹（2014）、刘（2013）などが挙げられている。曹の研究においては、「怎么说呢」が使われる発話の状況に着眼し、その機能を以下の4種類に分類した。①話題をスムーズに転換する機能、②禁忌的な話題を回避する機能、③話し相手の観点に対する反対意見あるいは物事に対するマイナス評価を婉曲的に伝達する機能、④話し手が言おうとするが言えない心的状態を表す機能である。

刘（2013）は、「怎么说呢」の直後に現われる話題の性質によって、「怎么说呢」が用いやすい場面は「复杂性」（複雑な話題）、「负面性」（否定的な観点）、「敏感性」（禁忌的な話題）と分類した。

「那什么」「那个什么」「什么来着」など、フィラー「什么」と一緒に使われる表現に関する先行研究はまだ少ないのが現状である。張・方（1996）は、「那什么」「那谁」「那哪儿」のような「那」＋「疑問詞」の構造を分析し、指示機能と談話機能（発言権維持、話題転換など）があると示唆した。しかし、分析の重点は指示詞「那」にあり、「那什么」「那个什么」に関する発話機能と使用実態などについて明らかになっていなかった。

3 フィラーの認定基準と実質的意味を持つ「什么」と「怎么」

フィラーは従来意味のない語として認識されている。確かに感嘆詞型フィラー「嗯」「哦」のように単独で用いられると概念的な意味がなく、話し手の感情を表出する語として使われる。「疑問詞型」フィラーはそれと異なり、元々実質的な意味を持つ語である。実際の会話データを分析する

と、話し言葉で頻繁に使用されている「什么」型、「怎么」型で元々の意味が希薄化し、発話者の情報産出プロセスを分析した結果を見ると、フィラーとして機能している面が垣間見られる。

従来「什么」、「怎么」の構文的意味について研究が多く見られるが、これら構文の意味について、辞書や専門書の記述を踏まえた上で、「什么」「怎么」の実質的な意味について、以下のようにまとめる。

まず、疑問詞「什么」の意味について、辞書『中日辞典』（金川 2016）を参考にすると、「什么」の品詞分類は「疑問代名詞」と定義されていて、以下の7つの語義が示されている。

- ① 事物を尋ねる。例文：那是什么。訳文：それはなにですか？
- ② 不定の事物をさす。例文：我想吃点什么。訳文：何か食べたい。
- ③ ある範囲では例外がないことを表す。例文：睡觉之前，最好什么都不吃。訳文：寝る前に何も食べないほうがいい。
- ④ 不満・反発を表す。例文：你说的这是什么话，一点道理都不讲。訳文：なんてことを言うの、ちっとも理屈が通っていない。
- ⑤ 相手の言ったことを繰り返し、それに不賛成であることを示す。例文：什么不知道，昨天我还提醒你来着。訳文：知らないとはなににごとだ、きのうちゃんと注意しておいたじゃないか。
- ⑥ 列挙を表す。例文：什么戏剧啊，电影啊，音乐啊，他都很喜欢。訳文：芝居とか映画とか音楽とかいったものなら、彼はなんでも好きだ。
- ⑦ 驚きを表す。例文：什么，她结婚了？ 訳文：えっ、彼女が結婚したって。

「怎么」は同じ疑問代名詞であるが、単独で使用すると、語義は以下の4つとなる。

- ① 方式、方法を問う。例文：怎么写？ 訳文：どう書きますか？
- ② 原因、理由を問う。例文：你怎么不知道这件事？ 訳文：君はなぜ

このことを知らないのだ。

③ 性質、状況を問う。例文：到底是怎么回事？ 訳文：いったいどういうことですか。

④ 驚きを表す。例文：怎么，你不认识我了？ 訳文：なんだ！ 僕を忘れてしまったのか。

「什么」、「怎么」の元々の意味を上記のように詳述したが、発話中に現われる「什么」、「怎么」の形には、本来の意味として使われていない例がある。つまり、実際に使う場面では、使用例として定義された上記の意味を持たないことがある。本来の意味を果たすより、場つなぎ、沈黙回避や「知識や記憶の欠如を示し、明言や断定を避けることができる」(Philips (1998))などの機能を持っている。こうしたように、疑問詞としての実質的な意味が希薄化し、フィラーの機能を果たしている「什么」、「怎么」型に関しては、実際の発話データを精査して元々の意味と異なる視点での分析を試みたい。

4 実質的意味を持つ「什么」と「怎么」型フィラー

1980年代ごろから、フィラーの研究が注目され、その定義に関し、さまざまな研究者から見解が述べられている。日本語フィラーを詳細に分類し、その機能を研究してきた山根(2002:49)は、「それ自身命題内容を持たず、かつ他の発話と狭義の応答関係・接続関係・修飾関係にない、発話の一部分を埋める音声現象」のことと指摘している。

上記で指摘された定義により、フィラーを特徴付けると、自身命題内容を持たず、たとえ削除されても、発話全体の命題的な意味が変わらないような語句であると言える。

しかし、その後の研究では、日本語の話し言葉を再考する研究者の増加

につれ、「チョット」「ヤッパリ」「ナンカ」など実質的な意味を持つ語をフィラーとして認める研究者も増えた。その例として大工原（2010）、本間（2011）などが挙げられる。本間（2011）が示すフィラーの範囲は、会話参加者のインタラクションの中で現れる意味が希薄になっている副詞、助詞、指示詞などから、感動詞、間投詞に属するものまでをフィラーとしている。

中国語疑問型フィラーも同様に、典型的な指示詞型フィラー「那个」「这个」、感嘆詞型「嗯」などでも、元々実質的な意味を持ちながら、話し言葉で頻繁に使われ、フィラーとしての機能を果たしている。これらの用語例として疑問詞型が挙げられる。

疑問詞型フィラーは表し方によって「什么」型と「怎么」型に大別される。「什么」型は指示詞「那」「那个」、語気助詞「来着」と不定の事物をさす「什么」を組み合わせるパターンで、それぞれは「那什么」「那个什么」「什么来着」などになる。

実際の会話データを見ると、「怎么」型の出現形式としては「怎么说呢」が挙げられている。文の構成としては、疑問詞「怎么」、動詞「说」、語気助詞「呢」の三つの部分によって形成され、文字通りに直訳すると「何と表現したらいいか」「なんというか」という表現方法を尋ねる疑問文である。

上記に挙げられた中国語フィラー「那什么」「那个什么」「什么来着」「怎么说呢」は発話においてフィラー機能は果たしているが、その語自体に本来の意味を持ちつつ発話文の文法構造の一部を形づくっているため、感嘆詞型、指示詞型など典型フィラーのように削除してもよいとは限らない。

疑問詞型フィラーは実際に発話文の中では如何に機能しているのかについて、以下の3つの作例を挙げて説明する。

作例 1：「那个什么，我突然想起个事儿来…」(あれだ、突然思い出した…)

作例 2：「你每次都这样，还真是狗改不了吃那什么」(毎回そうだって、何とかを喰うという犬の本性は変えられない)

作例 3：「他姓什么来着？ 姓陈是吗？」(彼の苗字はなんだっけ、陳でしたっけ)

上記 3 つの作例を比較すると、疑問型フィラーの発話文中での機能はそれぞれ異なっている。例 1 のように聞き手の注意を喚起し、唐突に話題を転換しないように、「那个什么」を用いてから重要な伝達内容に話を移している。ここでは、フィラーとしての典型的な機能「話題転換」「注意喚起」を果たしていることが分かる。

例 2 は、中国語のことわざ「狗改不了吃屎」(糞を喰うという犬の本性は変えられない) という意味で、直接的な表現をすると相手に悪い印象を与え、表現の品位が下がるおそれのある行為になる可能性があるため、ここでは「ふん」の意味を表す「屎」を「那什么」と表現している。この場合の「那什么」は、会話をやわらげ、話し手の品位を保つなどを意図して、直接的な表現ができない事物を指し示している。明言しにくい伝達内容に対して、「那什么」はフィラーのやわらげ機能を持っている一方、指示機能も残存していることも無視できない。文中では「那什么」の指示機能によって発話文構造の一部分を形づくっているため、削除すると発話文が理解不能になる。

例 3 の「什么来着」の使用例では、話し手が他人の名前について自身の記憶内情報を検索するプロセスが垣間見える。すぐ思い出せない具体的な固有名詞などの名称を探すために時間を稼ぎ、伝達内容に至るまでに自分のターンを維持する機能を果たしていることが分かる。

上記3つの作例をまとめると、中国語疑問型フィラーの発話文中での機能はそれぞれ異なっているものの、いずれもフィラーの機能を果たしていることが分かった。典型的なフィラーの分析については、山根（2002）の定義が従来の研究において広く応用されてきたが、本研究では大工原（2010）本間（2011）の論旨を踏まえ、フィラーであるかどうかを判別する拠り所としてその使用動機と機能に着目する。つまり、話し手によって如何に使われているか、聞き手はそれを聞いて如何に捉えているかに焦点を当ててフィラーであるかどうかを解析したい。

本研究では、上記の趣旨から、「那什么」「那个什么」「什么来着」「怎么说呢」はフィラーであると定義し、構文の中に疑問詞がフィラーの中に存在する特徴点を捉え、このようなものを疑問詞型フィラーと呼ぶ。

5 調査方法

具体的な研究方法としては、調査協力者の属性（年齢・性別・職業の要素）を確認した上で、中国語母語話者の6組のカップル12人に協力してもらった。6組は互いに初対面の関係である。調査は中国語の標準語で行われるので、調査協力者の出身地は統一しないことにした。

無作為で抽出したカップル2組を1ペアとした上で、親密関係と初対面男女関係を含めた3ペア12組の会話データを観察・収集した。まず親密関係間の自然会話をICレコーダーで録音し、さらに同じペア内の初対面の異性同士の自然会話データを収録した。いずれも会話時間は15分程度に設定した。しかし、より自然状態に近い会話データを収録するため、二人の判断によって自由に会話を始め、15～20分程度で自主的に会話を終了するよう調査協力者に事前に伝えた。調査協力者のプロフィールは表1のように示している。

グループ	協力者	国籍	年齢	職業	交際何年目	出身地
カップル A	男 A	中国	20 代	学生	2 年	江蘇省
	女 A	中国	20 代	学生	2 年	河南省
カップル B	男 B	中国	30 代	会社員	4 年	吉林省
	女 B	中国	20 代	会社員	4 年	遼寧省
カップル C	男 C	中国	20 代	無職	5 年	吉林省
	女 C	中国	20 代	会社員	5 年	遼寧省
カップル D	男 D	中国	20 代	会社員	2 年	広東省
	女 D	中国	20 代	会社員	2 年	遼寧省
カップル E	男 E	中国	20 代	会社員	3 年	河北省
	女 E	中国	20 代	無職	3 年	天津市
カップル F	男 F	中国	30 代	公務員	2 年	遼寧省
	女 F	中国	30 代	会社員	2 年	遼寧省

表 1 調査協力者のプロフィール

6 中国語フィラー「什么」と「怎么」の使用実態

今回の調査では約 200 分間の発話データを録音し、そのデータの解析により判明した中国語発話の文字数は全部で 60529 文字となっている。本研究データにおける発話文字数の男女別は表 2 が示している。男性の発話文字数は 34524 字であり、女性の 26005 字より発話文字数の量が多い。

本研究の約 6 万字の会話データの中に、「什么」の総出現数は 371 例であり、文字数に換算すると 742 文字になっている。出現率は全発話文字数の 1.2% である。つまり、実際の発話データを見た結果、1000 字を発話するごとに「什么」の出現回数が 12 回に達している。

機能面から見ると、実質的な意味としての使用数 306 例に対してフィラーとしての使用数は 27 例である。詳細は表 3 に示されている。表中のデ

男性	発話文字数（率）	女性	発話文字数（率）
男性 A	4455（7.4%）	女性 A	5090（8.4%）
男性 B	7467（12.3%）	女性 B	4450（7.4%）
男性 C	7626（12.6%）	女性 C	4260（7.0%）
男性 D	6195（10.2%）	女性 D	2702（4.5%）
男性 E	4556（7.5%）	女性 E	4203（6.9%）
男性 F	4225（7.0%）	女性 F	5300（8.8%）
男性総計	34524（57.0%）	女性総計	26005（43.0%）

表 2 協力者による発話文字数

類型	表現	使用数	小計	合計
什么型	那个什么	14	27 (62.8%)	43 (100%)
	那什么	7		
	什么来着	6		
怎么型	怎么说呢	16	16 (37.2%)	

表 3 疑問詞型フィラーの使用数

ータから、実際の発話では、フィラー「什么」型は「什么」の総使用数のおよそ 8.8% を占めていることが分かった。このような使用頻度の高さから、「什么」のもう一つの機能として確立されていると言っても過言ではないだろう。またフィラー「什么」型の形式を見ると、「那」「那个」「来着」と結合した形で用いられていて、それぞれは「那个什么」「那什么」「什么来着」の 3 種類に分けられる。その中で使用頻度が高いのが「那个什么」、2 位と 3 位は「那什么」「什么来着」となっている。「那个什么」と「那什么」は形式上、非常に相似しているが、「个」の有無が機能面に如何に影響を与えるかについては、7.1 節で詳述する。

一方、「怎么」の総出現数は 148 例である。文字数に換算して 296 文字になり、出現率は全発話文字数の約 0.4% である。その中で、実質的な意

協力者 \ 類型	那个 什么	那 什么	什么 来着	怎么 说呢	小計	協力者 \ 類型	那个 什么	那 什么	什么 来着	怎么 说呢	小計
A 男	1	0	0	6	7	A 女	0	0	1	2	3
B 男	3	1	1	2	7	B 女	0	0	0	0	0
C 男	2	1	0	4	7	C 女	0	0	0	1	1
D 男	3	1	2	0	6	D 女	1	0	0	0	1
E 男	1	1	0	0	2	E 女	0	2	0	0	2
F 男	2	1	2	0	5	F 女	1	0	0	1	2
男	12	5	5	12	34	女	2	2	1	4	9

表4 疑問詞型フィラーの男女差と個人差

味を持つ「怎么」の使用数が132例であるのに対してフィラーとしての使用数は16例であり、その出現率は12.1%である。

本研究の発話データの対象としては、形式上「怎么说呢」1種類のみであり、語気助詞「呢」が付加されていない基本形式「怎么说」と他の語気助詞と結合した形で用いられている表現（例として「怎么说啊」「怎么说呀」）は話し相手に解答を求める疑問文として使われており、フィラーとしての使用例は発見されていなかったため、本研究では「怎么说呢」だけに焦点を当てる。その詳細は表4に示されている。

まず、表3を見ると、「什么」型の出現内訳は「那个什么」14例、「那什么」7例、「什么来着」6例となっていて、「怎么」型の「怎么说呢」は16例の使用数が観察されている。疑問詞型フィラーとして用いる文字数は165文字であり、発話データの全文字60529の0.27%を示している。

男女差と個人差の面から見ると、表4のように男性は女性より4倍ぐらい使用していることが分かり、男性グループ34例に対し女性グループ9例とかなり大きな差がみられている。表2のように男性の発話文字数は女性より多く、その比率は57%対43%であり、男女における「什么」型の

使用率（男性 79%、女性 21%）も男性の方が女性の使用率を圧倒していて、ジェンダーに視点をおいたフィラー「什么」型の使用差が大きく見られた。

また、調査協力者全員 12 人のうち、男性グループ全員が疑問詞型フィラーを使用し、女性 B の使用例無しの場合以外、全員が使用していることが明らかになった。このような統計結果から、疑問詞型フィラーはすでに定着して使用されていると言っても過言ではないだろう。

7 疑問詞型フィラーの機能

「那个」、「这个」などの典型的なフィラーを分析した際に、「情報探機能」「談話管理機能」「心的機能」はフィラー基本機能として使われている（楊 2019）。しかし、疑問詞型フィラーには基本機能以外に、聞き手の気持ちを配慮する「心的機能」も観察されていて、フィラーの使用動機を見れば、「ほかし」や「やわらげ」と言う「心的機能」に再分類することができる。「ほかし機能」とは、なるべく直接的な表現を避け、明言や断言をせずにことばを曖昧にすることによって話し相手の負担を減らすためにフィラーを使用することである。一方、「やわらげ」機能とは会話の相手あるいは話題に触れる人や事柄に対して異論、マイナス評価などの意思を伝える前置きとしてフィラーを使用することである。いずれも疑問詞型フィラーの独特の機能だと考えられる。

このように、中国語疑問詞型フィラーの機能は、それぞれ「情報探機能」「談話管理機能」「心的機能」の 3 種類に大別され、その機能分類と下位分類の意味概念は表 5 のようにまとまる。

発話文文中に使用されるフィラーが複数の機能を持っている使用例が多数存在するため、統計上は「ターン維持」「内容探し」機能を同時に果た

機能分類	下位分類	機能の意味
情報 探し 機能	内容探し	これからの発話内容を脳の中で検索するためのフィラー使用
	表現探し	話者の伝達意図に近い表現をさがすためのフィラー使用
	話題探し	会話を続けるもしくは盛り上げるために、新たな話題を思考して提示するためのフィラー使用
談話 管理 機能	ターン取得	ターンを取得するためのフィラー使用
	ターン維持	ターンを維持するためのフィラー使用
	ターン譲渡	ターンを譲渡するためのフィラー使用
心的 機能	ぼかし	明言や断言をせずにことばを曖昧にするためのフィラー使用
	やわらげ	会話の相手あるいは話題に触れる人や事柄に対して異論、マイナス評価などをソフトに伝えるためのフィラー使用

表5 フィラー機能分類と下位分類の意味概念

機能分類		那个什么	那什么	什么来着	怎么说呢	合計
情報 探し 機能	内容探し	0	0	0	12	43 (43.9%)
	表現探し	14	7	6	0	
	話題探し	0	0	0	4	
談話 管理 機能	ターン取得	0	1	0	1	43 (43.9%)
	ターン維持	14	6	6	15	
	ターン譲渡	0	0	0	0	
心的 機能	ぼかし	6	4	0	0	12 (12.2%)
	やわらげ	0	0	0	2	
延べ機能使用数		34	18	12	34	98 (100%)

表6 疑問詞型フィラーの各機能使用数

すフィラーの使用例が多く見られ、一つのフィラーが複数の機能を果たしていることと考えられる。この点を踏まえ、本調査では疑問詞型フィラーの出現実数は43例にもかかわらず、以下統計した機能数は出現実数ではなく、使用延べ数となっている。ただ、各機能の元に設けた下位分類は相互的に対立な概念であるため、同じ機能分類における各下位分類は重複せ

ず、その実数として統計した。具体的なデータは表6のとおりである。

疑問詞型フィラーの機能は表6の数値結果として示されている。まず、「什么」型から見ると、「那个什么」「那什么」が果たしている機能は「表現探し」「ターン維持」「ほかし」の3つに集中している。「什么来着」の機能は主に「表現探し」と「ターン維持」である。それに対して「怎么」型の「怎么说呢」の場合、基本的に「内容探し」「話題探し」「ターン維持」「やわらげ」として使われている。

談話管理としての機能を見ると、「什么」型と「怎么」型に顕著な差が見られなく、話し手が自分のターンを続けて発話が進行する「ターン維持」がほとんどである。さらに、フィラー「嗯」のように発話文文末に位置し、話し手が話し続けることをやめ、発言順番の譲渡表示する「ターン譲渡」は一例も見られなかった。

情報探し機能においては、「什么」型は主に話し手が「人名」「書籍名」「果物の呼び方」などの名称を探す場合よく用いられている。言語データベースにアクセスしてその言葉がすぐ出てこないときに「表現探し」として「那个什么」「那什么」「什么来着」がよく用いられることが調査で分かった。それに対して、「怎么」型はこれからの発話内容、話題などを悩む際に「内容探し」「話題探し」としてよく用いられる傾向が見えた。

心的機能に関しては、「什么」型は主に「直接的な表現を避け」「重要度が低い表現を示唆」するなど、発話内容をほかすために使われているが、「怎么」型は主に「会話内容に自信がない」「会話内容に慎重になっている」「相手に理解を求める」などの動機として用いられている使用例が観察される。

以上の内容をまとめると、疑問詞型フィラーの中では「什么」型、「怎么」型によって果たす機能も異なっている。「什么」型は「表現探し」「ほかし」機能としてよく用いられるが、「怎么」型は発話の「内容探し、話

題探し」「やわらげ」として使用されていることが判明した。

さらに、各疑問詞型フィラーの独特の意味合いにより使用差が存在し、各疑問詞型フィラーを使用する場面と使用意図が異なるため、前述した「什么」型と「怎么」型のそれぞれの項目を取り出して、項目ごとに説明する必要がある。この点を踏まえて、節 7.1 から 7.3 にかけて実際の発話データに基づき、各種類の疑問詞型フィラーの機能を詳説する。

7.1 「那什么」と「那个什么」の共通点と相違点

フィラー「那什么」と「那个什么」は数量詞「个」が介在するかしないかが異なるが、形式上において相似している。ここでは、「那什么」は「那个什么」は韻律上での省略型か、または異なる機能を持つかなど、「那什么」と「那个什么」を用いる上での共通点と相違点を明確化して分析を行う。

時間	番号	話者	発話内容
2: 16	25	D 男	啊，然后后来看到了，然后呢。【人名】跟你说的我有对象。 〈笑〉那你心里怎么想的？ (ああ、それから【人名】は私と交際している人がいることをあなたに言ったら。あなたはもう思ったか？)
2: 18	26	D 女	〈笑〉心里呀，没怎么想的。有一点小落寞，哎呀，这个人 有对象了。 (心の中は、私はあまり考えていません。少し寂しい、悲しいかな、この男はもう彼女を持っているか。)
2: 28	27	D 男	真的。(本当に。)
2: 33	28	D 女	但我不知道你跟你对象感情好不好。反正，我也，我也没什么，有对象了大不了当朋友处呗，对不对。 (でも彼女との関係が良いかどうかはわかりません。とにかく大したことがない。付き合っている人がいるなら友達として接すればよい。)

2: 40	29	D 男	<p>啊，但是你就这种想法，啊，对，当时是不是我们刚认识没多久的。我们3月20多号，你才，才认识对吧。（嗯）3月24号，好像是（嗯）在食堂，然后清明是4月3号，那会儿是刚认识，还没那个什么，那个进一步想法呢吧。</p> <p>（あ、そういうふう思ったのか。あ、そうか、当時は知り合ったばかりで、3月24日に食堂で出会って、知り合ったばかりだから、まだその、まだ前に一歩進むという考え方はないよ。）</p>
-------	----	-----	--

発話例 1

時間	番号	話者	発話内容
6: 20	55	E 女	<p>九月一号（嗯）都开学了。就可以送去了，不送也不行，／沉默2秒／嗯，不送的话，你没有时间。</p> <p>（幼稚園は9月1日から始まる（うん）。行かせるか行かせないかどうでもいいけど／2秒間沈黙／まあ（子供）を幼稚園に行かせないと自由な時間がないね。）</p>
6: 27	56	E 男	<p>你主要想干自己的事没有那么多时间去陪她。</p> <p>（あなたは自分のことで精一杯で子供の面倒を見る時間があまりないね。）</p>
6: 35	57	E 女	<p>对呀。而且这个，这个秋天要是错过去的话，等来年春天的话，又得等到春天才能那什么…</p> <p>（そうよ。そしてこの、この秋がうまくいかない場合、次の春を待つ、幼稚園に行かせるには次の春まで待たなければなりません…）</p>

発話例 2

時間	番号	話者	発話内容
3: 19	37	D 男	<p>啊，然后是在食堂当中，（嗯）／沉默2秒／食堂的一个晚上。然后，对，那会你不能管我，我们刚认识啊，我也不知道你是谁啊，没说当时也没往那方面想。</p> <p>（ああ、それから食堂の中で、（うん）／2秒間沈黙／夜の食堂で、あの頃、私はあなたが誰であるかわかりません、私はその時までその気になっていなかった。）</p>

3: 27	38	D 女	<p>哈，你不知道我是谁你天天找我吃饭，你不知道我是谁你天天…</p> <p>(なにそれ、私が誰であるかを知らないのに、毎日ご飯をご馳走してくれるか。私が誰であるかを知らないのに、毎日…)</p>
3: 37	39	D 男	<p>当初我还没那什么的时候〈人名〉他们怎么说的，他们听见了吗，啊。</p> <p>(当時まだあれをしなかった時、彼女たちは聞いたか、何かを言ったか。)</p>
3: 59	40	D 女	<p>嗯，是。(うん、そうだ。)</p>

発話例 3

上記の3つ発話例について、発話例1は「那个什么」を用いた発話例である。発話例2、例3は「那什么」を使用した発話例である。発話例1では、親密関係D組の二人は交際する前のことを回顧し、男性Dは「当時は知り合ったばかりで、3月24日に食堂で出会って、知り合ったばかりだから、まだ(那个什么)、まださらに前に一步進む考え方はないよ」と情報を提供した。「前に一步進む考え方」という表現を考えつく前に、一旦「那个什么」でターンを維持したことが分かった。話し手により「那个什么」の指示内容としての「前に一步進む考え方」を強調している。

しかし、発話例2、例3の発話内容を見ると、「那什么」の指示内容が明らかにされていない。発話例2は親密関係Eグループによる発話データであるが、二人は娘を幼稚園に行かせるべきかどうかについて話していた。女性Eは「秋のうちに(娘を幼稚園に行かせないと)、来年の春までにやっと(那什么)できる。」

発話例3は親密関係Dグループによる場面である。二人は交際する前のことを思い出して「男性がいつ告白をしたか」について議論していた。男性Dは女性Dのルームメートの反応を気にして「当時まだ(那什么)しなかった時、彼女たちは聞こえたか、何かを言ったか」と女性Eに質

フィラー	「那什么」	「那个什么」
指示内容表明数	2 例 (28.5%)	10 例 (71.4%)
指示内容表明しない数	5 例 (71.5%)	4 例 (28.6%)
総計	7 例 (100%)	14 例 (100%)

表7 「那什么」と「那个什么」の指示内容明言率

問した。「那什么」指示内容を明言せずに自分のターンを終わらせていた。女性Eは特に「那什么」について聞かなく、スムーズに質問について答えていた。

発話例2、例3の内容を見ると、話し手受け手の関係は親密関係であるため、共通の知識や情報が多く、指示内容を明言しなくても、「那什么」が具体的に何を指すのかがわかりあえるので、ターンが終わるまで話し手による「那什么」の指示内容が明言されなかった。

上記の3つの例によって、フィラー「那什么」と「那个什么」の共通点とは、いずれも「適切な表現」の代わりに使用されていること、区別としては「那什么」と「那个什么」の使用には話し相手が共有する情報の度合いが関与していることが今回の調査で明らかになった。上記の発話例では、話し相手は親密関係で以前この話題について話し合った経験があり、言葉を尽くさず「那什么」を用いてその話題を提示することが多かった。

「那什么」と「那个什么」の相違点を見るため、それぞれの指示内容を明言したかどうかをまとめて示している。

表7のように、「那什么」を使用する際に、話し手と聞き手との間に共通知識が多く、言葉を尽くさずとも何となくわかりあえる。コミュニケーションを取り合う双方が共通している知識、経験を持つ必要があり、明言しなくても伝達意味が話し相手に通じる特徴がある。そのため、話し手は「那什么」を使用する際に、「那什么」は具体的に何を指しているかを表明

する発話例はわずか2例で28.5%である。

それに対して、「那个什么」は話し手が一時的に適切な言葉を探し、沈黙時間を回避するために、「那个什么」の指示内容は話し手から明言しないと、伝達意味が成立できない場合もある。そのため、「那个什么」を用いた後、10例（全体の71.4%）の発話例ではその指示内容を明言している。

「那个什么」と「那什么」は数量詞「个」が介在するかしないかが異なっていて、形式的には非常に相似しているが、表現探し機能を果たす際に、「那什么」は「那个什么」より話し相手との間の共通知識が多く、指示内容は明言しなくともわかりあえる部分がある。一方、「那个什么」の場合は、話し手により指示内容を明言するケースが多く、ターン以内に最後まで思い出せない場合、話し相手が助言として提示する例も観察された。このように、フィラー「那个什么」と「那什么」の使用は完全に自由変異としてではなく、機能的に使い分けられていることが観察される。

7.2 「什么来着」の使用例と機能分析

実際の会話例を分析した結果により、フィラー「什么来着」の総使用例は6例で、それらのすべてが表現探し機能として用いられている。さらに、「什么来着」の使用の特徴から、この表現探し機能を「名称を探す機能」と「追加項目を探す機能」に細分化することができる。「名称探し」とはすぐ思い出せない具体的な名称を探す機能で、「追加項目を探す」とは同類としてとらえる項目は他にもあることを示す機能のことである。

表8の使用例を見ると、表現したい言葉を思い出している際に名称を探す機能を果たす使用例は計4例で、同類としてとらえる項目は他にもあることを示して、追加項目を探す機能は計2例である。以下の2節は、「什么来着」が実際の会話例の中でどのように使用されているかを示している。

「什么来着」の機能	名称を探す機能	追加項目を探す機能
「什么来着」の使用数	4 例 (66.7%)	2 例 (33.3%)

表 8 「什么来着」の表現探し機能分類

7.2.1 名称を探す機能

時間	番号	話者	発話内容
5: 32	60	D 女	因为你也从来不买水果呀。(我从来不买水果呀) (あなたはいままで果物を買ったことはありませんから (買わないね)。)
5: 36	61	D 男	我买过一次, 我们俩买过一次那个, 记不记得, 就那个水果 叫, 就是, 长得像那个, 像那个绿色的, 绿色的然后四个把 儿, 那叫什么来着, 你还记得不。 (買ったことがあるよ、一緒に買ったことがある。あれだ。 あの、覚えている。その、あれみたい。緑で4つの尖って いる部分があって、何て言えいいか、覚えている?)
5: 54	62	D 女	那是什么东西呀。(あれはなに?)
5: 57	63	D 男	就是你忘了, 绿色的大概这么大, 然后这样的四个把儿, 那 叫什么来着, 我不记得了。 (忘れたか? 緑でこのぐらいの大きさでこのように4つ の尖っている部分があって、何て言えいいの? 私が忘 れた。)
6: 04	64	D 女	你说的是什么。(それはなに?)
6: 05	65	D 男	一种水果。我也不知道叫什么。 (ある種の果物、何て言えいいかはわからない)
6: 07	66	D 女	我不知道, 杨桃吧。(知らないね、スターフルーツか)
6: 11	67	D 男	嗯嗯嗯, 对对对。(うんうんうん、そうだ!)

発話例 4

上記の発話例は親密関係 D グループによる会話例である。発話番号 61 番を観察すると、男性 D はある果物の呼び方を忘れて、その果物の特徴を詳細に説明した後、「什么来着」を使用し、記憶内情報の検索を行った

が、その結果まで至っていないので、最後は話し相手の女性 D に情報提示を求めている。

女性 D は男性 D が提供した情報の不備により、「それはなんですか」と男性に質問した後、男性は再びその果物の特徴を説明した。発話番号 63 番のように、記憶内情報を検索するため、「什么来着」を再び用いている。

名称表現は一般的に特定の存在や物を指すため、数多くの種類が存在し、中に日常生活では使用頻度が低い表現もある。さらに、記号の恣意性により、名称はその存在に必然的な結びつきはないと見なされている。話し言葉の場面では、実時間で即時反応が要求されるが、そのために短時間で固有表現まで辿り着く手掛かりが限られているため、なかなか想起しにくい項目だと考えられる。

下記の発話例 5 では、「什么来着」を使用し、名称を想起するまで時間を稼ぎ、ターンを維持する機能が見られる。

7.2.2 追加項目を探す機能

時間	番号	話者	発話内容
6:01	102	F 男	我们俩，我俩去年结婚的，我俩去年结婚去拍婚纱照的时候… (私たち二人は去年結婚した。結婚式の写真を撮った時…)
6:05	103	E 女	嗯，在哪儿照的？（どこで写真を撮ったの？）
6:08	104	F 男	那个叫【时尚经典】（店舗名）。 (时尚经典っていうところで。)
6:10	105	E 女	啊。啊啊【地名】那个。(ああ、そうか、【場所】にあるそれか。)
6:14	106	F 男	嗯嗯，【时尚经典】，我们当天我们那一批可能就是 500 多人。 (うんうん、サービス員はその日 500 人以上かもしれません。)

6: 19	107	E 女	啊。(ああ)
6: 20	108	F 男	就是全是人啊，就是他一个摄影师（啊）一个化妆师（啊）然后还有什么来着，就是他这一个人就跟两对儿。啊，就是在那忙活的。 (至る所に人がいる。カメラマン（うん）、メイクアップアーティスト（うん）、そして他にも誰かがいる。担当者一人は2ペアの新人さんを担当していたみたいだ。ああ、皆が忙しそうに働いているよ。)

発話例 5

発話例 5 は初対面の男性 F と女性 E による会話データである。男性 F は自分の結婚記念写真を撮影することについて話した。「いたるところに人がいる、カメラマン一人とメイクアップアーティスト一人、それに什么来着、夫婦 2 ペアに一人つき、(みんな) 仕事に追われている。」

発話番号 108 では、話し手は最終的に正確な検索結果を提供していないことから見ると、話し手は検索結果より追加項目が他にもあることを伝達しようとしていることが明らかになる。情報提供の直前まで思い出せない不確定なことは「什么来着」であやふやにして、同類としてとらえる事物は他にもあることを示唆している。

上記の発話例 4 と 5 に使用される「什么来着」は話し手あるいは聞き手に確定な回答を求めることなく、実際の発話データを見ても「什么来着」の指示内容は明言されていなかった。ここでの「什么来着」には「疑い」も「問い」もない。会話の機能と動機から見ると記憶内情報を検索していることが理解される。つまり、この発話例では、フィラー機能に該当すると判断できる。

7.3 「怎么说呢」の使用例と機能分析

実際の発話例から、フィラー「怎么说呢」の使用に関しては、「内容探

し機能」「話題探し機能」「やわらげ機能」の3つの機能が見られる。内容探し機能については、「怎么说呢」の後に続く用語の内容によってさらに2つの下位タイプに細分することができる。

「内容探し機能」に関しては、「怎么说呢」の元々の使用メソッドのとおりに「言葉に詰まってためらう場合に頻繁に用いられている」を意味している。しかし、言葉に詰まった理由は、フィラー「什么来着」の記憶内情報や名称などを探す傾向を示すことではない。フィラー「怎么说呢」では、後に続く文の伝達内容によって、前述したとおり「情報探し機能」の下位分類として主に2つの機能が分けられている。一つ目の場合は冗長かつ混乱な説明を回避し、自分の観点を整理して結論を探していることを意味する。その一方、話し手により進行中の話題をさらに展開し説明する際に、「怎么说呢」は前置きとして使われ、聞き手にこれからこの話題が長くなる予告をして説明内容を探すことにある。

「やわらげ機能」に関しては、「怎么说呢」は前置きとして、話し相手の意見あるいは話題に触れる人や事柄に対して異論、マイナス評価などの意思を伝える前に用いられ、直接的、強制的な表現は避けられており、婉曲に伝達する機能を果たし、受け手の話し相手に対する好感度を高めることができる。

以上のような考究結果を踏まえて、「怎么说呢」各機能の意味を以下のように示すことができる。

機能 1：内容探し機能

タイプ A：「怎么说呢」＋ 説明（話し手は一つの話題を展開させるあるいは複雑な説明が必要とする際に、予告として「怎么说呢」を文頭に置く）

タイプ B：「怎么说呢」＋ 結論（冗長且つ混乱な説明を回避するため、「怎么说呢」を用いて会話をくくり、伝達内容をもう一度整理してメイ

怎么说呢	出現数			合計
1. 内容探し機能	言い換え	伝達内容を具体化すること (8 例)	12 例	18 (100%)
		メインポイントを導入すること (4 例)		
2. 話題探し機能	積極的に話題を思考して提示すること		4 例	
3. やわらげ機能	否定的な評価をする場合、聞き手の気持ちを配慮して口調をやわらげること		2 例	

表 9 「怎么说呢」の機能分類

ンポイントを言う前置きとして使う)

機能 2：話題探し機能（会話を続けるもしくは盛り上げるために、新たな話題を思考して提示するためのフィラーを使用する。）

機能 3：やわらげ機能（前置きとして、会話の相手あるいは話題に触れる人や事柄に対して異論、マイナス評価などの意思を伝える前に使用する。）

「怎么说呢」の機能別使用例は下記の表 9 のとおりである。

表 9 のように、内容探し機能を果たす「怎么说呢」の使用例は 12 例で、話題探し機能 4 例、やわらげ機能 2 例となっている。内容探し機能の下位分類を見ると、伝達内容を具体化する機能の使用例は 8 例（総使用数の 56.25% を占める）あり、メインポイントを導入する機能を果たす使用例は 4 例（総使用数の 31.25% を占める）である。

データを見ると、話し手は「怎么说呢」を使用して、大多数の場合は発話内容を探すことを目的としている。否定的な評価をする場合、聞き手の気持ちを配慮して口調をやわらげるために使用するケースも見られた。

7.3.1 内容探し機能（説明補充）

時間	番号	話者	発話内容
1: 55	34	B 女	<p>哎，是嘛，那可能外国人多了，房价就涨了吧。扬州不都说出美女嘛？ 是吗？</p> <p>（外国人が多く集まると、家賃が高くなるでしょう。ちなみに、揚州（地名）は美人の産地という噂って本当ですか）</p>
1: 59	35	A 男	<p>怎么说呢，嗯～嗯，不太好说，嗯～，但是就是，主要是现在我们那边就是像苏南那边嘛，全国人都去那边打工，然后会带上自己的孩子，然后人多了之后就没有那种感觉说是，就是明显的这部分的这边的人怎么样怎么样，但是四川是出美女。因为成都其实去的人不多。毕竟离家远嘛。然后我在成都呆了半年～，然后觉得那边的比较好看。</p> <p>（それは何とも言いにくい、全国の農村から都市への出稼ぎ人口が増えることによって地域的な特徴が明確ではなくなりました。でも四川美女は本当だ。成都に出稼ぎに行く人はあまりいないです。家から遠く離れているからです。それから私は成都に半年滞在して、成都の方が綺麗だと思います。）</p>

発話例 6

時間	番号	話者	発話内容
10: 00	125	C 男	<p>不是我欺…这个你真不了解我，我们家的情况啊。</p> <p>（いじめじゃない。私のことについてはまだわかりませんね、うちの家庭事情。）</p>
10: 05	126	D 女	<p>她欺负你〈大笑〉（じゃ、彼女はいつもあなたをいじめますね〈笑い〉）</p>
10: 10	127	C 男	<p>这个你真是太不了解了，我因为我这个人怎么说呢，就就一般时候我从来不会去主动去招惹她。但是我这人，说句不好听的嘴贱。你知道嘛。总去跟她有些时候就是跟她开一些玩笑，开不到她想要那个点上，刚才我俩还说这个问题呢，我俩一说两句话可能就会把她惹急了，但是我从来不会说欺负她什么的。</p>

			(私という人はまあ、何て言えばいいでしょう。私は積極的に彼女を怒らせたことは一度もありません。でも、毒舌で冗談を言うのが好きです。それで一言だけで妻を怒らせるかもしれませんが。いままで彼女をいじめたことはないです。)
10:30	128	D 女	嗯, 是的。我知道。 (うん、そうですね、わかります。)

発話例 7

上記 2 つの発話例を分析すると、話し手は一つ的话题に対して説明する際に、もしくは現在進行中の話題をさらに展開しようとする場合に、「怎么说呢」は前置きとして使われている。話し手は現在進行している話題に対して説明しにくいために説明が間延びすることを踏まえ、まず「怎么说呢」を使用して聞き手に「一言で説明しきれない」「これからの説明が長くなる」と予告した後、複雑な伝達情報を整理し、言語化するプロセスが垣間見える。

さらに、自分に対して自問するように「怎么说呢」を使用し、話し相手に「自分が思考過程を経て話している」「自分が知ったことをすべて教えてあげる」という誠実な態度を表すことができ、信頼を獲得しやすくなる。このような使い方が発話例 6、7 でも使われている。

発話例 6 は初対面異性による会話であり、女性 B は男性 A に対して彼の出身地について聞いている。女性 B の質問「人が多く集まると、家賃が高くなるでしょう。ちなみに、揚州（地名）は美人の産地という噂って本当ですか」と言う問いに対し、男性 A は文頭に「怎么说呢」と述べ、続けてフィラー「嗯」を用いた後、「それは何ともいいにくい、全国の農村から都市への出稼ぎ人口が増えることによって、地域的な特徴が明確ではなくなった。でも四川美女は本当だ…」と説明している。

男性 A の内心状態を見ると、女性 B の質問に回答するために話題をさ

らに展開して説明する必要があると判断し、「怎么说呢」を用いてこれからの伝達内容を考える時間を稼ぎ、情報を探して整理するほかに、説明するために時間がかかるという予告も行っている。加えて、「不太好说」（それは何とも言いにくい）を用いて伝達情報の複雑さもアピールしている。

発話例7は男性Cと女性Dによる会話データである。男性Cは女性Dに自分と妻の関係について以下のように話している。「私という人は怎么说呢（中略）毒舌で一言だけで自分の妻を怒らせるかもしれませんが。いままでは妻をいじめたことはないです。」

ここでの「怎么说呢」は自分のこと（妻をいじめたことはない）を的確に相手に伝えたいという心理から、自分のターンを維持し、伝達意思の近い言葉や代わりの表現を探す機能を果たしている。それに、「怎么说呢」を使うことによって会話内容を具体化し、話題の発展を促し、説明段階に入りやすくしている。

7.3.2 内容探し機能（結論導入）

時間	番号	話者	発話内容
13:07	109	A 男	可是感觉城市规划没啥意思。 (でも都市計画ってあまり面白くないなあ…)
13:18	110	A 女	啊, 那你觉得你学哪个专业对你以后就业有帮助? 以后不还是要, 就是就业吗? (就職に有利な専門はどれ? とうせ就職のために選ぶだろう。)
13:21	111	A 男	没有, 没考虑那么多, 我就想着学喜欢的东西一直学, 要不然就是城市规划稍微偏离了一点, 到时候, 就是很枯燥。感觉没啥意思, 还是偏实践一点的感觉, 怎么说呢, 主要是能出去玩。

			(そこまでは考えていない、好きなことをずっと勉強し続けていきたい。都市計画を専門にすれば、すこしはずれだけど、面白くない。その時になったら、実践的な(科目を選びます)、何て言えばいいのか、外に出かけて遊べる(専門が好き)。)
13:43	112	A 女	那你喜欢哪个就学哪个，不是说兴趣就是最好的老师嘛。(好きな方を選んで、好きこそものの上手になれる。)

発話例 8

時間	番号	話者	発話内容
6:00	48	B 女	反正也是，之前去教会的时候看他们每个月有奉献。(まあね、私が前に教会に行ったとき、信者たちが毎月教会のため、寄付しているのを見かけたことがある。)
6:06	49	B 男	对呀，何止每个月，勤的地方一两周就得闭着眼往里投钱了。(そうね、毎月どころじゃないよ、頻繁なところだと毎週寄付しないとイケないよ)
6:09	50	B 女	所以那些牧师就是不上班的话，他们也不愁吃不愁穿，不愁喝。(だから、牧師たちが仕事に行かなくても、生活に心配する必要はありません。)
6:14	51	B 男	就是这个问题，你说一个比如说，做，做慈善的机构，那虽然这个教会它并不是纯纯属，他也是从，嗯~怎么说呢？反正是反正是取之于民用之于民那种机构，那他本身他也要发工资的。比如说做慈善，哎，那牧师为什么要拿工资啊，下面那些什么给他帮忙的那些人为什么有工资啊，他为什么不做慈善呢？连他都要赚钱，何况是医院呢？医院也是盈利性目的。不管是中国，比如说大家都说中国的医院黑呀，没有那么大病开那么大药啊。日本也一样的。日本是给你开小药，不停地让你吃，治不好你。(〈笑〉) 中国他是，就是一下子就给你弄好了。

		(この問題について、例えば、フィランソロビーも純粹に奉仕的活動をやるわけではない、何て言えばいいだろう。どうせ人から得たものは人のために使う組織だ。牧師たちだってそのような仕事をして給料をもらっているよ。牧師など清貧を是にする価値観を持つ宗教に関わる人間さえも給料を受け取ることから見ると、病院はなおさらだ。営利は目的だ。中国の病院はブラックだとみんなは言っているだろう。病気の重さに関わらず高価な薬を出している。それについて日本も同じ、服用し続けなければいけない処方を出しているから、一気に治りません。逆に中国では、一気に治す（ことを求める）。)
--	--	--

発話例 9

上記 2 つの発話例を見ると、いずれも話し手は会話内容について不確定性を抱えながら、心的状態が動揺している状態で情報を伝達し、説明している場面である。フィラー「怎么说呢」を会話で使う前まで、伝達内容が自分自身の中でほとんど整理されていない状態を示している。この状態によって無意識的に会話文が冗長、間違いや誇張になり、話の内容や目的を失い、聞き手に「話のポイントが分からない」「不信感がある」としてとらえられる可能性もある。

会話では、熟考や判断を加えないまま、話し手が聞き手に伝達する段階に入る場合が多く認められる。その際に、一旦「怎么说呢」を使用して冗長かつ混乱な説明を回避し、自分の観点を整理するための時間を稼ぎ、その直後に受け手に話す会話内容を想起した話し手が内心で整理した後、最も効果的に伝達しようとする意図には、本音に近いものがあり、話し手が「怎么说呢」の直後に自分の態度と判断を伝える傾向が垣間見える。それに「怎么说呢」には、会話のメインポイントの前置きとして使われ、話し相手の注意を喚起する効果もある。

発話例の前後のコンテクストを見ると、発話例 8 は親密関係 A グループによる会話で、二人は男性 A の大学院の専門について話していた。女

性は男性に対して「どの専門を選ぶのが将来の就職に有利ですか?」と聞き、男性は「そこまでは考えていない、好きなことをずっと勉強し続けていきたい。都市計画を専門にすれば、すこしはずれだけど、面白くない。その時になったら、実践的な(科目を選びます)、(怎么说呢)外に出かけて遊べる。」と答えた。

男性 A は進むべき専門課程を選ぶことについて迷い、女性 A に聞かれると、自分の観点をまだ整理していない状態で伝達情報を無秩序に述べている。混乱かつ冗長な説明から回避するため、話し手男性 A は「怎么说呢」を用いて一旦情報を整理し、その後に出現する会話内容「外で遊び回る専門を選びたい」は、その結論であることが判断できる。

発話 9 は親密関係 B グループによる会話である。二人は「宗教・病院などの施設は何のために存在する」について話しあっている。前後の文脈によって女性の意見は「宗教は人の心を救い、病院は人の命を救う」と述べたが、男性 B は「宗教・病院などの施設は民衆からお金を搾り取るために存在する」という反対の意見を持っている。発話番号 51 番を見ると男性 B は「この問題について、例えば、フィランソロピーも純粋に奉仕的活動をやるわけではない、(怎么说呢)どうせ人から得たものは人のために使う組織だ。」と結論付けた。それに、「牧師など清貧を是にする価値観を持つ宗教に関わる人間さえも給料を受け取ることから見ると、病院はなおさらだ。営利は目的だ。」と自分の社会観を力説する。

フィラー「怎么说呢」を言うまでに、1つの例示としてフィランソロピー活動に触れたが、伝達内容がほとんど整理されていない状態での会話である。さらに、フィラー「嗯」が発せられたことにより、一時的に伝達情報が未整理状態であった可能性も考えられる。このように、「怎么说呢」が使用されることにより、複雑な状況に対してさらに説明することを避けて、自分が最も伝達しようとする内容を整理して、直接的・短絡的に結論

を下す場面展開になっている。

以上のようなフィラー機能を見れば、「怎么说呢」は決して無意識的に使われている「口癖」ではなく、話し手にとって情報整理、自分の心的態度を示すことができるものであり、聞き手にとって「怎么说呢」の直後に示されるメインポイントを予告するタームとしての機能を伴う言葉である。

上記の発話例を分析することにより、情報探し機能を果たす「怎么说呢」はあとに続く会話内容と会話動機によって「伝達情報を具体化する前置き」と「メインポイントを導く前置き」の2タイプに分けられる。

7.3.3 やわらげ機能

一方、「やわらげ機能」に関しては、実際の使用例における「怎么说呢」がどのように用いられるかについて以下の使用例を見てみたい。

時間	番号	話者	発話内容
15:52	140	A 女	怎么伤害她了？ (どのように彼女を傷つけたか？)
15:53	141	A 男	她，不是，她有点事儿多。她，她长得比较萝莉嘛。然后，就有的客人会骚扰他。 (彼女は、いや、彼女自身も悪いかも。彼女は童顔でたまに客からのセクハラに遭ったことがある。)
16:00	142	A 女	嗯。(うん)
16:01	143	A 男	然后骚扰她之后呢，她抱怨还可多那种的，然后她就去找人抱怨，大家都不愿意听，她去找那个主管。 (それでいつも文句を言う。そして誰もが聞きたがらなかったの、彼女はマネジャーのところに行く。)
16:10	144	A 女	然后主管怎么伤害她了。 (それからマネジャーは何をして彼女を傷つけたか？)
16:12	145	A 男	然后主管之前不怎么搭理她，后来那天，我感觉主管可能是是，他，(喜欢她)他有点木讷，主管他，主管他怎么说呢，他情商有点低，他就说怎么总是你呀。

		(マネジャーはちょっと朴訥で、マネジャーのことは何て言えばいいでしょう、EQが低くて、彼はなぜハラスメントを受けるのはいつもあなたですかと言った。
--	--	---

発話例 10

時間	番号	話者	発話内容
09:34	73	A 男	日本人都是自己带，家人，家人也不管。 (日本人はみんな自分(夫婦二人)で子供の面倒を見るので、ほかの家族はあまり関与しないですね。)
09:38	74	B 女	他们日本人都是夫妻自己带孩子，所以在保育园在日本的保育园是非常的那个抢手的。想要进保育园进不去的人有很多。因为日本人不喜欢就是让自己的婆婆或自己的妈妈给他们看孩子。然后父母也不愿意给自己儿女看孩子。 (彼らの日本人はみんな自分(夫婦二人)で子供の面倒を見ます。そのため、保育園はとても人気で、入園したいのにできない子が多いですよ。義母や母親に子供の面倒を見せたくないし、親は孫の世話をすることを望まないからです。)
09:54	75	A 男	我也不喜欢。〈笑〉(我也)我感觉，怎么说呢，我感觉就老人就很多事情啊，然后考虑方法呀就会也不是说不对吧，就感觉有点过时或者什么。 (私も好きではありません。〈笑〉何て言えばいいでしょう。お年寄りの考え方は間違いないけど、ちょっと時代遅れな感じがします。)
10:10	76	B 女	他们会宠爱自己的那个第三代的孙子啊孙女什么的就觉得他们想要什么都想给买，那样子的话不一定会对孩子的教育会有帮助。 (彼らは孫を甘やかし、欲しいものをすべて買ってあげます。それは子供の教育に役立たないかもしれませんね。)

発話例 11

上記の2つの発話例はいずれも「相手を不愉快に思わせる」唐突さを軽減し、良好な対人関係を構築するため、自分の気持ちを率直に表現する前の前段として「怎么说呢」が使われている。受け手にマイナス評価を発する前に、「怎么说呢」を通してこれから行う会話内容が多少ネガティブで

あることを聞き手に伝えているのだ。

発話例 10 では、男性 A が妻に自分のアルバイト先での同僚が受けたハラスメントと、それを処理するマネジャーについて評価をする発話例である。

ハラスメントの被害を受けた同僚がアルバイト先のマネジャーに相談したが、発話番号 145 のように「(前略) …マネジャーはちょっと朴訥で、マネジャーのことは怎么说呢、EQ が低くて、彼は (なぜハラスメントを受けるのはいつもあなたですか) と言った」。このように、男性 A はアルバイト先のマネジャーのことを低 EQ として評価する前に「怎么说呢」を使用し、「評価しにくい」という動揺する気持ちを話し相手に伝え、マイナス評価について言及し始めることを予告している。

発話 11 では男性 A と女性 B が日中両国の子育て法について話し合っている。中国式の完全に祖父母が孫の面倒を見ることについて、男性 A は「あまり好きではない、私の感覚から、私は怎么说呢、祖父母の考え方とやり方は間違っているとは言えないが、ちょうど時代遅れっていうか」と自分の思いを示した。

ここでは、男性 A の会話の表現方法が、初対面の女性 B に対しては、自分の妻との会話の表現方法と比べて、その表現方法の選定がより慎重に行われていることが判断できる。中国式の子育てを評価する際に、柔らかいイメージで響き、話題の唐突さ、敏感さを軽減するため、フィラー「怎么说呢」のほか、「我感觉」(自分の感覚では)「也不是说不对吧」(間違っているとは言えない) など一連の曖昧表現が用いられている。

以上発話例 10 と発話例 11 のように、「怎么说呢」の使用は唐突さを軽減し、話し相手の気持ちを配慮する機能を果たしているほか、話し手が受け手の身分、立場を考慮して話題導入の仕方を工夫し、慎重に談話を組み立てるために使われている様子が見られる。

8 考察

先行研究では、疑問詞型フィラーをフィラーの新しい概念としてとらえ分析する研究が僅かであり、このテーマを論究する学問的価値は十分にあると考える。

このような目的意識を踏まえて、今回の調査において疑問詞型フィラーを「什么」型と「怎么」型の2種類に類別し、さらに集積した発話データにより、フィラーとしての使用機能と使用動機を解説、解析して、疑問詞型フィラーが実質的な意味を持つフィラーだと認識した。

疑問詞型フィラーの使用例は指示詞型フィラーや感嘆詞型フィラーなどより少ないが、調査協力者全員12人のうち、11人により使用され、疑問詞型フィラーはフィラーとしてかなり定着し使用されていることが明らかになった。

本研究の最大の課題は、各種の疑問詞フィラーがどのような機能を果たすかという点にあったが、「什么」型と「怎么」型は同様に疑問詞が使用されているにもかかわらず、果たす機能が異なっている。「什么」型はすぐに思い出せない表現を探す時や明確に言えない時の「ぼかし」機能としてよく用いられるが、「怎么」型は会話内容、話題に悩む時の「内容探し」「話題探し」とマイナス評価などの前置き「やわらげ機能」としてよく使用されていることが判明した。

また、各種のフィラーの分析により、「那什么」と「那个什么」の使用には会話のパートナーが共有する情報の度合いが関与している可能性が見えてくる。会話のパートナーどうしが共有する情報が多くなると、「那什么」を選びやすい傾向がある。逆に明確な表現を提示する必要がある場合、「那个什么」が用いられる傾向がある。例文数そのものが少ないが、一つの仮

説として立てられると考える。

「什么来着」の機能に関してはいずれの使用例も「表現探し」として用いられる。表現を細分類すると、「名称探し」と「追加項目探し」に分けられ、それぞれは「すぐ思い出せない具体的な名称」と「同類としてとらえる事物は他にもあること」を探す機能を果たしている。

「怎么说呢」の機能は次の3つのまとめることができる。それぞれは「内容探し」「話題探し」「やわらげ」である。「怎么说呢」の使用実態から、内容探しはあとに続く用語に内容によって細分類すると伝達内容を具体的化する「怎么说呢」＋「説明」のタイプAとメインポイントを導入する「怎么说呢」＋「結論」のタイプBに区分けできる。また、本調査で、新たな話題を提示する話題探し機能とマイナス評価などを導入するやわらげ機能が調査対象者に使用されていることが判明した。

9 参考文献

- 宇佐美まゆみ監修 (2013) 「BTSJ による日本語会話コーパス (トランスクリプト・音声) 2013 年版」『自然会話リソースバンク構築による世界的教材共有ネットワーク実現のための総合的研究』平成 23 年度～26 年度科学研究費補助金基盤研究
- 鐘ヶ江信光 (1960) 『中国語辞書』第 1 版 大学書林
- 金川浩 (2016) 『中日辞典』第 3 版 小学館
- 大工原勇人 (2010) 「日本語教育におけるフィラーの指導のための基礎的研究—フィラーの定義と個々の形式の使い分けについて—」神戸大学博士学位論文
- 田窪行則 金水敏 (1996) 「複数の心的領域による談話管理」『認知科学』3, pp. 59-74
- 田中敏 (1981) 「日本語発話における言い淀み現象の分類と特徴づけ」『心理学研究』52 (4), pp. 231-218
- 本間妙 (2011) 「実質的意味を持つフィラーの談話的研究—特定のインタラクションに表出する「ちよっと」「なんか」「やっぱり」—」中部大学国際人間学研究科博士論文 pp. 7-93
- 水上悦雄 山下耕二 (2007) 「対話におけるフィラーの発話権保持機能の検証」『認知科学』14, 4 pp. 588-603

山根智恵 (2002) 『日本語の談話における「フィラー」』 くろしお出版社

曹秀玲 (2014) 「从问到非问：话语标记的一个来源—以“怎么说呢”为例」 山西大学学报 37. 4 pp. 60-68

刘丽艳 (2013) 「话语斟酌标记“怎么说”及其功能研究」 宁夏大学学报 (人文社会科学版). 35. 5. pp 41-47.

楊洲 (2019) 「対話場面における中国語フィラー「那个」と「这个」の使用実態と機能」『人文研究』 198 pp. 103-130.

张伯江 方梅 (1996) 《汉语功能语法研究》 江西教育出版社

Philips mieko K (1998) Discourse markers in Japanese: Connectives, Fillers and Interactional particles, Michigan State University.